



## Red Hat AMQ 2021.Q1

# AMQ Clients 2.9 リリースノート

Red Hat AMQ Clients のリリースノート



## Red Hat AMQ 2021.Q1 AMQ Clients 2.9 リリースノート

---

Red Hat AMQ Clients のリリースノート

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/AMQ\_Clients\_2.9\_Release\_Notes.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

本リリースノートには、AMQ Clients 2.9 リリースに含まれる新機能、改良された機能、修正、および問題に関する最新情報が含まれています。

---

## 目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化 .....	3
第1章 修正された問題 .....	4
1.1. AMQ JMS .....	4
1.2. AMQ .NET .....	4
1.3. AMQ C++ .....	4
第2章 既知の問題 .....	5
2.1. AMQ C++ .....	5
第3章 重要事項 .....	6
3.1. RED HAT ENTERPRISE LINUX 6 のサポート終了日 .....	6
3.2. 長期サポート .....	6
3.3. AMQ C++ .....	6
3.4. 優先クライアント .....	7
3.5. レガシークライアント .....	7
3.6. アップストリームバージョン .....	7
第4章 重要なリンク .....	9



## 多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

## 第1章 修正された問題

### 1.1. AMQ JMS

- [ENTMQCL-2337](#) - 特殊文字を持つ大きなメッセージのデコードに失敗する

以前のリリースの製品のリリースでは、クライアントは文字が広い転送フレームの場合、マルチバイト文字を含むメッセージをデコードできませんでした。

本リリースでは、マルチバイト文字を持つ大きなメッセージが正しくデコードされるようになりました。

- [ENTMQCL-2339](#) - フェイルオーバーの直後にクライアントがトランザクションを無視できる
- 以前のリリースの製品のリリースでは、クライアントは接続フェイルオーバー後に直接トランザクションに属するメッセージ転送をマークできないことがありました。

本リリースでは、フェイルオーバー後にトランザクションが正しく復元されるようになりました。

### 1.2. AMQ .NET

- [ENTMQCL-2241](#) - クライアントの例は空の開始フレームを送信します。

以前のリリースの製品のリリースでは、**ReconnectSender** サンプルプログラムは必須フィールドのない AMQP フレームを送信しました。

本リリースでは、サンプルに必須フィールドが正しく表示されるようになりました。

### 1.3. AMQ C++

- [ENTMQCL-1863](#) - 強制的な受信時に、対応するプロトコルをソケットを閉じて閉じる

以前のリリースの製品のリリースでは、クライアントがリモートピアから閉じられた AMQP 接続を要求すると、一致する AMQP を閉じずにローカル TCP ソケットを閉じていました。

本リリースでは、クライアントはソケットを閉じる前に AMQP を閉じます。



## 第2章 既知の問題

### 2.1. AMQ C++

- [ENTMQCL-2583](#) - CMake 2.8 を使用したビルドの例  
この例のビルドメタデータには、CMake 2.8 で利用できない CMake 機能が使用されるため、ビルドに失敗します。

**回避策**： CMake 3 が利用できる開発者環境を使用します。

## 第3章 重要事項

### 3.1. RED HAT ENTERPRISE LINUX 6 のサポート終了日

バージョン 2.9 より、AMQ クライアントは Red Hat Enterprise Linux 6 に対応しなくなりました。Red Hat Enterprise Linux 6 のメンテナンスサポートは、2020 年 11 月 30 日に終了しました。詳細は、「[Red Hat Enterprise Linux Life Cycle](#)」を参照してください。

### 3.2. 長期サポート

AMQ Clients 2.9 は、長期サポート(LTS)リリースバージョンとして指定されています。バグ修正およびセキュリティアドバイザリーは、少なくとも 12 カ月間、多数のマイクロリリース (2.9.1、2.9.2、2.9.3 など) で AMQ Clients 2.9 で利用可能になります。

つまり、新しいマイナーリリースにアップグレードしなくても、AMQ Clients の最新のバグ修正およびセキュリティアドバイザリーを取得できます。

LTS リリースストリームに関する以下の重要なポイントに注意してください。

- LTS リリースストリームでは、バグ修正のみが提供されます。このストリームには新しい機能拡張は追加されません。
- サポート対象の設定を維持するには、LTS リリースストリームの最新マイクロリリースにアップグレードする必要があります。
- LTS バージョンは、AMQ Clients 2.9.0 GA から少なくとも 12 カ月間サポートされます。

### 3.3. AMQ C++

- **未設定のインターフェイス**

AMQ C++ メッセージング API には、まだ証明されておらず、将来のリリースで変更される可能性のあるクラスとメソッドが含まれています。これらのインターフェイスを使用すると、将来的にアプリケーションコードを変更する必要がある場合があることに注意してください。

これらのインターフェイスは、API リファレンスで **未設定の API** と記されています。これには、**proton::codec** and **proton::io** namespace のインターフェイスと、**proton** namespace における以下のインターフェイスが含まれます。

- **listen\_handler**
- **messaging\_handler** の **on\_sender\_drain\_start** および **on\_sender\_drain\_finish** メソッド
- 送信側での **draining** および **return\_credit** メソッド
- 受信側での **draining** および **drain** メソッド

ヘッダーファイルに存在するがまだ文書化されていない API 要素は未解決と見なされ、変更される可能性があります。

- **非推奨のインターフェイス**

API リファレンスで **非推奨** と記されるインターフェイスは、将来のリリースで削除される予定です。

本リリースでは、**proton** namespace で以下のインターフェイスが非推奨になります。

- **void\_function0**: 代わりに **work** クラスまたは C++11 lambda を使用します。
- **default\_container**: 代わりに **container** クラスを使用してください。
- **URL** および **url\_error**: 代わりにサードパーティーの URL ライブラリーを使用してください。

### 3.4. 優先クライアント

一般に、AMQP 1.0 標準をサポートする AMQ クライアントは、新しいアプリケーション開発に適しています。ただし、以下の例外が適用されます。

- 実装で分散トランザクションが必要な場合は、AMQ Core Protocol JMS を使用してください。
- ドメインで MQTT または STOMP が必要な場合 (たとえば、IoT アプリケーションの場合) は、コミュニティでサポートされている MQTT または STOMP クライアントを使用します。

すでに以下を使用している場合、上記の考慮事項は必ずしも適用される訳ではありません。

- AMQ OpenWire JMS クライアント (以前は A-MQ 6 で提供されていた JMS 実装)
- AMQ Core Protocol JMS クライアント (HornetQ で以前に提供された JMS 実装)

### 3.5. レガシークライアント

- **CMS および NMS API の非推奨**

ActiveMQ CMS および NMS メッセージング API は、AMQ7 で非推奨になりました。CMS API のユーザーは AMQ C++ に移行し、NMS API のユーザーは AMQ.NET に移行することが推奨されます。CMS および NMS API は、AMQ7 の機能が低下している可能性があります。

- **従来の AMQ C++ クライアントの廃止**

従来の AMQ C++ クライアント (以前は MRG Messaging で提供されていた C++ クライアント) は、AMQ7 では非推奨になっています。この API のユーザーは AMQ C++ に移行することが推奨されます。

- **Core API はサポート対象外**

Artemis Core API クライアントはサポートされていません。このクライアントは、サポートされている AMQ Core Protocol JMS クライアントとは異なります。

### 3.6. アップストリームバージョン

- AMQ C++、AMQ Python、および AMQ Ruby は、現在 [Qpid Proton 0.33.0](#) をベースにしています。
- AMQ JavaScript は、[Rhea 1.0.24](#) に基づいています。
- AMQ .NET は、[AMQP.Net Lite 2.4.0](#) に基づいています。
- AMQ JMS は、現在 [Qpid JMS 0.55.0](#) をベースにしています。
- AMQ Core Protocol JMS は、現在 [ActiveMQ Artemis 2.16.0](#) をベースにしています。
- AMQ OpenWire JMS は、現在 [ActiveMQ 5.11.0](#) をベースにしています。
- AMQ JMS Pool は、現在 [Pooled JMS 1.2.1](#) をベースにしています。

- AMQ Resource Adapter は、現在 [AMQP 1.0 リソースアダプター 1.0.2](#) をベースにしています。
- AMQ Spring Boot Starter は [AMQP 1.0 JMS Spring Boot 2.3.6](#) をベースにしています。
- AMQ Netty OpenSSL は、現在 [netty-tcnative 2.0.34.Final](#) をベースにしています。

---

## 第4章 重要なリンク

- [AMQ Clients 2.9.x Resolved Issues](#)
- [Red Hat AMQ 7 でサポートされる構成](#)
- [Red Hat AMQ 7 コンポーネントの詳細](#)
- [AMQ Clients 2.8 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.7 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.6 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.5 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.4 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.3 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.2 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.1 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 2.0 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 1.2 リリースノート](#)
- [AMQ Clients 1.1 リリースノート](#)

改訂日時： 2022-09-08 16:27:35 +1000